

請 願 文 書 表

令和8年9月9日提出

請願 番号	受 理 年 月 日 件 名	要 旨	紹 介 議 員	付 託 委員会名
7	8.7.31 市長の不法行為に対する損害賠償請求について	市長の職員等に対するパワーハラスメント問題に係る第三者調査委託費用については、市長の不法行為によって支払うことになった費用のため、市長が損害を賠償するよう決議されたい。	太 田 正 孝	総務
8	8.8.27 学童保育における安全・安心な居場所の充実について	学童保育の質の向上を図り、子供たちが継続して安全に安心して放課後を過ごすことができるよう、また、ひとり親、多子世帯等への利用料減免制度の創設により放課後児童クラブを必要とする子供がいつでも利用できるようにされたい。 あわせて、地価や物価高騰に伴う施設家賃の負担軽減など安定した運営基盤の整備を図るとともに、送迎に係る人件費及び交通費への財政支援を創設し、新一年生や配慮児童などの送迎需要に対応できる柔軟な送迎支援制度を早期に実現するなど、国や県の補助制度も最大限活用し、学童保育の施策を充実されたい。	青 木 亮 祐 竹 野 内 猛 森 ひろ た か 伊 藤 く み こ 坂 本 勝 司 古 谷 靖 彦 太 田 正 孝 井 上 さ く ら 梶 村 充 斉 藤 達 也 興 石 か つ 子 荻 原 隆 宏 田 中 ゆ き 長谷川えつこ 大 野 ト モ イ	こども教育

9	8.8.28 市庁舎の課題 検討について	市庁舎の課題を検討し、市民にその結果を報告されたい。 1 市庁舎のオープン度に関するアンケートを実施し、市民からの課題を整理の上、解決策を検討すること。 2 市庁舎の袋小路を解消すること。 3 より安全な避難のため、市庁舎の階段ドアの施錠を中止すること。 4 被災時の確実な避難を担保するため、パニックオープンの使用を中止し、ドアの施錠を中止すること。	井上 さくら	総務
10	8.9.1 教育予算の拡 充等を求める 意見書の提出 方について	教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに教育予算の拡充を図ることを求める意見書を国に提出されたい。	青 木 亮 祐 行 田 朝 仁 かざまあさみ いそ べ 尚 哉 横溝じゅん子 白 井 正 子 山 田 桂 一 郎 太 田 正 孝 谷 田 部 孝 一 井 上 さ く ら 梶 村 充 斉 藤 達 也 興 石 か つ 子 荻 原 隆 宏 田 中 ゆ き 長谷川えつこ 大 野 ト モ イ	こども教 育

11	8.9.1 部活動の地域展開等に係る十分な財政措置等を求める意見書の提出方について	次の事項の実現について、国の関係機関へ意見書を提出されたい。 1 部活動の地域展開等に伴い地方自治体に生じる財政負担について、国の責任において継続的かつ十分な財政措置を講じること。 2 地域クラブ活動を担う指導者及び運営スタッフの確保・育成を進めるため、適切な謝金及び人件費を保障できる支援制度を拡充すること。 3 参加費、保険料、交通費、用具費等に係る保護者負担の軽減策を講じ、家庭の経済状況によって子供の活動機会に格差が生じないように必要な支援を行うこと。 4 活動場所の確保、安全管理、事故対応等に係る体制整備について、自治体への支援及び明確なガイドライン整備を行うこと。 5 地域事情に応じた柔軟な制度運用を可能とするとともに、地域間格差が生じないように必要な支援策を講じること。 6 制度の推進に当たっては、地方自治体、学校、保護者、関係団体及び現場関係者の意見を十分に踏まえ、拙速な移行とならないよう配慮すること。	青 木 亮 祐 行 田 朝 仁 かざまあさみ いそべ尚哉 横溝じゅん子 白 井 正 子 山 田 桂 一 郎 太 田 正 孝 谷 田 部 孝 一 井 上 さ く ら 梶 村 充 斉 藤 達 也 興 石 か つ 子 荻 原 隆 宏 田 中 ゆ き 長谷川えつこ 大 野 ト モ イ	こども教育
----	--	--	---	--------------